

幻想と奇想にみち、謎と神秘のベールに包まれたこの版画集は、  
建築、都市、空間のスフィンクスであるというべきか。(本書より)

ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージの最も特徴的な作品群のひとつであり、  
いまだ多くの謎を残す版画シリーズ《牢獄》——。

本書では、国立西洋美術館に所蔵される《牢獄》初版、第二版全30葉を、  
原寸大ファクシミリ版(シート寸法594×430mm)にて再現。

作品、作家、先行研究を詳細に読み解いた論考により、その内容に迫る。



# ピラネージ《牢獄》論

描かれた幻想の迷宮

長尾重武(武蔵野美術大学名誉教授)編著

本体価格 三八、〇〇〇円+税

A4判上製函入 解説書二〇〇頁 挿図三三三点

ファクシミリ版三〇葉

ISBN 978-4-8055-0743-8 C3071

お取り扱い

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1 IVYビル 6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

<http://www.chukobi.co.jp>

## 目次

はじめに	第三部 版画集《牢獄》をめぐって、文献翻訳 はじめに ルドルフ・ウィットコワー 「ピラネージの建築信条」 マンフレード・タフォーリ 「ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ： 「否定のユートピア」としての建築」 (飛ヶ谷潤一郎 訳・解題)
第一部 版画集《牢獄》とは 初版 14 葉、再版 16 葉、全図版 国立西洋美術館所蔵の《牢獄》について (渡辺晋輔) 初版、第二版 対照記述	
第二部 版画集《牢獄》の成立とその意味 はじめに 序 ピラネージ評価と研究史 第一章 ヴェネツィアからローマへ 第二章 初版について 第三章 初版と第二版の間 第四章 第二版について 第五章 第二版以後 結 《牢獄》とは何か おわりに	あとがき 資料編 ピラネージ版画集・版画作品リスト / ピラネージ年譜 文献目録 / 図版リスト 索引

### ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ (Giovanni Battista Piranesi, 1720-78)

イタリアの銅版画家、考古学者、建築家。ヴェネツィアの近くで生まれ、1740年にローマに居を定める。

古代遺蹟に基づくローマのヴェドゥータやエジプト、エトルスクの古代建築図案等のエッチングは各国に伝えられ、新古典主義やロマン主義を培った。また、室内調度の意匠は特に、イギリス、フランスで尊重される。

《牢獄》のシリーズは最も独創的な仕事とされ、空想上の牢獄を描いた幻想的な作品群は、多くの建築家、画家、文学者へ影響を与えた。



#### 編著者・執筆者略歴

##### 長尾重武 (ながおしげたけ)

1944年生まれ。武蔵野美術大学名誉教授・元学長。

東京大学大学院博士課程単位取得満期退学。工学博士。

専門はイタリア建築史。

##### 渡辺晋輔 (わたなべしんすけ)

1972年生まれ。国立西洋美術館主任研究員。

東京大学大学院人文社会系研究科美術史学専攻博士後期課程中退。

専門はイタリア美術史。

##### 飛ヶ谷潤一郎 (ひがや じゅんいちろう)

1972年生まれ。東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻准教授。

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。博士(工学)。

専門はイタリア建築史。

#### 関連書籍

##### 西洋版画の歴史と技法

アントニー・グリフィス 著 越川倫明・佐藤直樹・小林亜起子・袴田紘代・伊藤彰子・武笠由以子 訳

本体価格 4,300 円+税

B5判カバー装 本文190頁 挿図135点

ISBN 978-4-8055-0703-2 C1071

【地中海学会ヘレンド賞・日本建築学会著作賞・建築史学会賞】

##### 盛期ルネサンスの古代建築の解釈

飛ヶ谷潤一郎 著

本体価格 22,000 円+税

B5 判上製函入 本文 442 頁 口絵 4 頁 挿図 191 点

ISBN 978-4-8055-0535-9 C3052

##### パラディオ図面集

O・B・スカモッツィ 著

長尾重武 編

本体価格 100,000 円+税

シート寸法(479×650, 479×325mm) 布貼函入 別冊解説 89 頁

ISBN 978-4-8055-0274-7 C3052

フィッシャー・フォン・エルラッハ

##### 「歴史的建築の構想」注解

中村恵三 編著

本体価格 25,000 円+税

B4 判上製函入 本文 304 頁 挿図 168 点

ISBN 978-4-8055-0296-9 C3052